

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	年金局	担当課室	事業企画課	事業企画課長 宮本		
会計区分	年金特別会計業務勘定	上位政策	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民年金法第74条2項及び厚生年金保険法第79条2項	関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「電子政府構築計画」中の「レガシーシステム見直しのための厚生労働省行動計画(アクション・プログラム)」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステム構築の実現により、コスト削減を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「社会保険業務に係る業務・システム最適化計画」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステム構築の実現する。					
実施状況	社会保険オンラインシステムについて、競争入札を可能し運用調達コストを削減するため、平成18年3月に策定した「社会保険業務に係る業務・システム最適化計画」に基づき、システムのオープン化を図り、汎用性のある効率的なシステムの構築を着実に実施する。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	63,099	90,450	68,572	46,271	12,296
	執行額	—	—	63,774		
	執行率	—	—	78%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	当該支出は、社会保険オンラインシステムの見直しのために支出されるものである。				
	見直しの余地	社会保険オンラインシステムについて、競争入札を可能し運用調達コストを削減するため、平成18年3月に策定した「社会保険業務に係る業務・システム最適化計画」に基づき、システムのオープン化(専用機器から汎用機器への移行、記録管理及び基礎年金番号管理システムのソフトウェアの再構築等)を図り、汎用性のある効率的なシステムの構築を着実に実施する。				
予算・監視の効率化	一部改善(コスト削減) 執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、管理コストの見直し等引き続き効率化に努めるべき。					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

厚生労働省
4,423百万円

(刷新システム移行向けデータベース抽出環境の整備等)



(株)エヌ・ティ・ティ・データ	2,173百万円
日本アイビーエム(株)	1,078百万円
(株)日立製作所	585百万円
日立キャピタル(株)	241百万円

厚生労働省
2,022百万円

(年金給付システム周辺サーバに係る機器の賃貸借)



(株)エヌ・ティ・ティ・データ	829百万円
東京センチュリーリース(株)	626百万円
NTTファイナンス(株)	205百万円
リコーリース(株)	200百万円

厚生労働省
56,896百万円

(記録管理・基礎年金番号管理システムの利用料等)



(株)エヌティティデータ	56,896百万円
--------------	-----------

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	刷新システム移行向けのデータベース抽出環境の整備	2,173			
計		2,173	計		0
B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	年金給付システムの周辺サーバに係る機器の賃貸借	829			
計		829	計		0
C.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	記録管理・基礎年金番号管理システムの利用料	56,896			
計		56,896	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0